



いわいずみ



P2 特集 未来の展望
人口減少に議会がなすこと

P 8 書かない窓口を導入

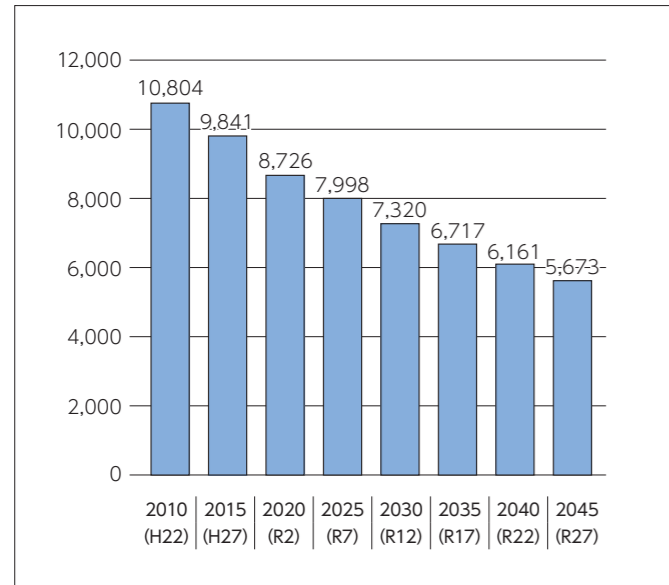
P14 町の考えを問う
(10 議員が一般質問)

P22 皆さんの声に 議会の対応

シリーズ キラッと光る人 6

ハンター歴 20 年になる上野^{うえの}まなぶ^{まなぶ}さん(40 歳)は、町の有害鳥獣駆除のリーダー的存在の一人。クマ、ニホンジカに加え、最近ではイノシシが増えているのが気がかりだと言います。これからも町の皆さんの安心のために活動をお願いします。

◆グラフ1 岩泉町の人口推計（2022年推計）



20年後の人口は推計5673人
 町の人口は、昭和31年と32年の合併後、昭和34年までは増加していましたが、34年の人口

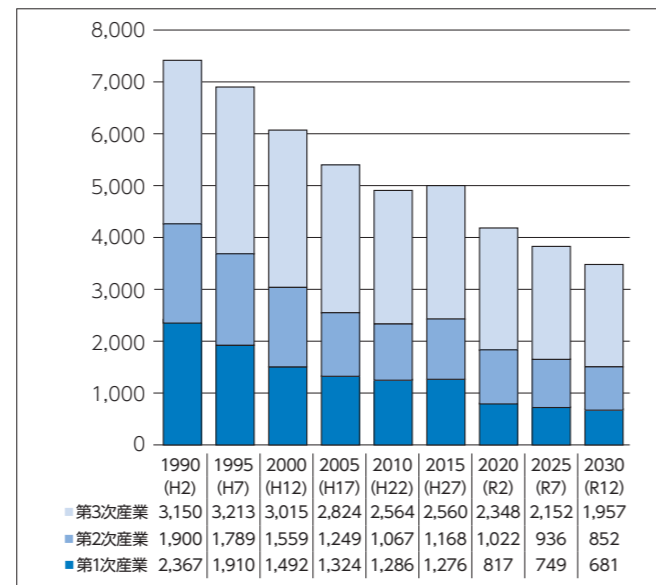
町の人口

28518人をピークに、以降は人口減少が続いています。出生数の低下と転出の超過によって、人口は減少傾向が継続。2022年町推計（※）を見ると、約10年後の2035年は6717人（令和5年度末比15.5%減）に、約20年後の2045年には5673人（5年度末比28.6%減）になると見込まれています。【グラフ1参照】

就業者の数

労働力も減少し人口流出が懸念
 本町の産業別人口は、若年層では製造業や公務員が主な受け皿となっています。人口減少に伴い、労働力人口の減少や消費市場、地域経済も縮小し、さらに人口の流出を引き起こすことが懸念されます。就業者数の推計を見

◆グラフ2 就業者数の推計



中学の職場体験が決め手 大好きな『魚』に携わる仕事を選択



小本浜漁業協同組合 菊地 華月さん（小川・18歳）

幼いころから魚が大好きでした。中学生のとき小本浜漁協で職場体験をし、将来ここで働きたいと思いました。岩泉町の自然豊かなところが好きです。町内で就職を考えていて、大好きな魚に携わるこの仕事を選択しました。

転出超過は、高校卒業時に町外事業所へ就職することなどが要因です。産業の振興に努め、若者の就職先を町内に確保する必要があります。

特集 未来の展望

人口減少に議会がなすこと

本町の人口減少は、予想を上回るペースで進んでいます。深刻化する人口減少は議会でも、常に議題に挙がっています。現在、検討中の議員定数・報酬の見直しの背景に、議員のなり手不足がありますが、人口減少に伴いさまざまな業種でもなり手不足が課題となっています。令和4年の出生数は19人で、統計開始以降初めて20人を下回り、5年も21人と横ばいの傾向です。20年後、この子たちが大人になったとき、町の未来はどのようになっているのでしょうか。本号では、危機的状況の人口減少に対して、町の未来を展望し、岩泉に住む皆さんが望んでいること、そして議会のなすべきことを一緒に考えていきます。



(※) 国からのデータとワークシートの活用などで推計したものと、国・県の人口ビジョンを踏まえ推計。

持続可能な町にするために

議会で取り組む5つの重点課題

人口減少が進む中で、持続可能な町にするためには何が必要なのか。本町議会では、5つの項目に重点を置き、6年度に調査・研究を進めていきます。

町や議会に対する、町の皆さんの思いや期待を聴きました。

3常任委員会で課題を調査研究

本町議会は、3つの常任委員会を設置しています。所管する町の事務の調査、議案や請願などを審査します。町の現状から未来を展望。人口減少をはじめ多様な課題が山積する中、持続可能な町にするため、各常任委員会で重点課題をピックアップしました。

総務常任委員会で、不登校児童生徒の教育機会の確保など「教育」と地域を盛り上げていくために不可欠な「町民の意欲向上」の2つです。

産業常任委員会は、人口減対策として町内就職の促進が図られるよう「雇用の創出」と若者から高齢者まで活力や生きがいにつなげるため「町民の所得向上」の2つです。

広報広聴常任委員会では、議会と住民との意思疎通を充実させるため「身近な議会」とし、議会モニター制度や議会情報の配信などを調査・研究していきます。

計画的な調査に努め改善策を結論づける

常任委員会の調査が、しっかりと問題点に対する改善策・対応

策を結論づけられるよう検討。計画的な調査へ見直しました。「町への施策要望」「所管事務調査」「議員と語る会」などを総合的に行い、効率的・効果的かつ実効的な調査となるよう努めていきます。

常任委員会所管事務調査のスケジュール (予定)

5～6月	7～8月	9～10月	11～1月	2～4月
現地調査・意見聴取・意見交換	所管事務調査・先進地視察(類似・財政力など重視)	要望事項とりまとめ	回答に対する検証・意見聴取・意見交換	次年度重点項目の検討(問題整理、優先順位)

01 教育

少人数の良さがあるが団体競技は人員不足

学校では、先生から親切丁寧に指導いただき、感謝しています。

少人数の良さがある一方、スポーツや部活動など団体競技を行うには、メンバーが不足。子どもたちが活発に活動できるよう、他地域との合同チーム結成や交流へ足の確保を支援していただくと助かります。

学力・体力・社会性を育む教育に期待しています。



畠山 正子さん (岩泉・44歳)

02 町民の意欲向上

我々の世代が積極的に参加

高齢化が進む現状で、我々の世代が積極的に地域活動やイベントに参加すべきだと思っています。

持続可能な産業を、行政に依存せずに進めるのも大事だと認識していますが、必要に応じて町の支援があれば、さらに頑張る力になりますね。

町民に寄り添い、共に明るい未来を目指し、つくっていく町・議会であってほしいです。



下道 洋平さん (小川・34歳)

03 雇用の創出

森林資源を活用し雇用の創出を

安家地区は、でも働き手がい地区外より人材バイオマス発電森林資源を活用創出が必要だと安家地区を含さまざまな観光資源人口の拡大に努めます。



玉澤 明德さん (安家・68歳)

04 町民の所得向上

健康で長く働き生涯所得を確保

60歳になって思うことは、健康で一日でも長く働くことができ、生涯にわたり所得を確保していけることこそが所得向上の実現ではないかと考えます。そのためにも、地域医療を守っていただくことを望みます。

これからのまちづくりは、若い人が定住したいと思えるような、そういう町であってほしいと願います。



佐藤 幸一さん (大川・60歳)

05 身近な議会

議会・役場と密に意見交換

三陸ジオパークも再認定になりました。日本三大鍾乳洞の龍泉洞に、たくさんの皆さんにおいでいただきたいです。

高齢者が多い町ですが、若者や子どもたちも暮らしやすい町になってほしいと思っています。

町民も人口減少に対し危機感を持ち、議会・役場と親密に意見交換しながら、活気ある町づくりに進んでほしいです。



佐々木 勝彦さん (岩泉・67歳)

次は、将来に希望の光を

3つの「無償化」で手厚い子育て支援

- ◆ **保育料の無償化** (5年7月から)
- ◆ **医療費の無償化** (6年8月診療分から)
※子どもと妊産婦の医療費
- ◆ **給食費の無償化** (6年度から)
※小中学校児童生徒の給食費

[関連 22頁]

岩泉町未来づくりプランは、本町のまちづくりを進めるうえで、最も基本となる最上位計画。後期基本計画では、令和5年度から8年度までの4年間に行う基本的な施策が定められています。

まちの将来像「希望の大地から未来の花咲くいわいずみ」の実現に向け、基本目標に掲げる3つの花。「生きがいの花」「暮らしの花」「なりわいの花」ごとに、6年度の主な事業をお知らせします。

3つの花づくり

地域資源を活用し新しい価値が咲き誇るなりわいの花づくり

- ◆ **農業**
新規就農者の支援拡充 375万円
- ◆ **商工業の振興**
ふるさと納税による町内経済の活性化
- ◆ **観光の振興**
民間活力を導入してふれあいらんど岩泉の再整備【関連 21頁】
6億1400万円



安全安心で豊かな生活が咲き誇る暮らしの花づくり



尼額有芸線

- ◆ **町道の整備**
・中沢線の舗装工事 3600万円
・尼額有芸線の改良舗装工事 3600万円
- ◆ **DXによる公的サービスの向上**
住民票などのコンビニ交付の導入【関連 8頁】 2373万円
- ◆ **再生可能エネルギーの活用**
脱炭素を強化するため「地球温暖化対策実行計画」を策定 828万円

誰もが健康で学び幸せな生涯が咲き誇る生きがいの花づくり

- ◆ **健康づくり**
おたふくかぜ・帯状疱疹の予防接種へ助成【関連 8・11頁】 159万円
- ◆ **子育て環境づくり**
妊婦、出産、子育てのオンライン健康相談サービス 138万円
- ◆ **教育環境の構築**
教育支援センターを設置し、不登校児童生徒をサポート 298万円



LINEを活用した健康相談

将来に希望の光を

町民・町議会と共に心を一つに



子どもたちの明るい未来のために、光が見える政策を

3本の無償化を軸に町全体で子育て支援

町長施政方針

(要約)新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、町内各地でイベントが再開。一方、物価やエネルギー価格の高騰が町民生活や産業分野に大きな影響を与えている。経済緊急対策支援などできる限りの支援を行ってきた。



施政方針演説を行う中居町長

令和6年第1回定例会は、2月8日から3月8日までの30日間の会期で開きました。初日に行われた施政方針演説(※)で中居健一町長は「6年度のスタートに当たり課せられている大きな課題は『将来に希望の光が見える政策』の実行。課題を克服し、町民が生きがいや充実感を感じられる取り組みを、町民・町議会と共に心を一つにし、一步一步美に進めていく」と述べました。

町長から提案のあった6年度当初予算を含む議案35件を全会一致で可決しました。

若い世代が希望を持ってこのまちに住み、子育てができる環境づくりを進める。町の未来を担う子どもたちの健全育成のため、保育料・妊産婦と子どもの医療費・給食費の3本の無償化を軸とし、町全体で子育てを支えるため一層尽力していく。

「岩泉町」を次の世代にしっかりと引き継ぐため、持続可能なまちづくりの創造に向けて挑戦していきたい。



町長施政方針

※ 町長が本年度の町政運営の基本方針や主な施策を示すもの

選挙管理委員4人を選出

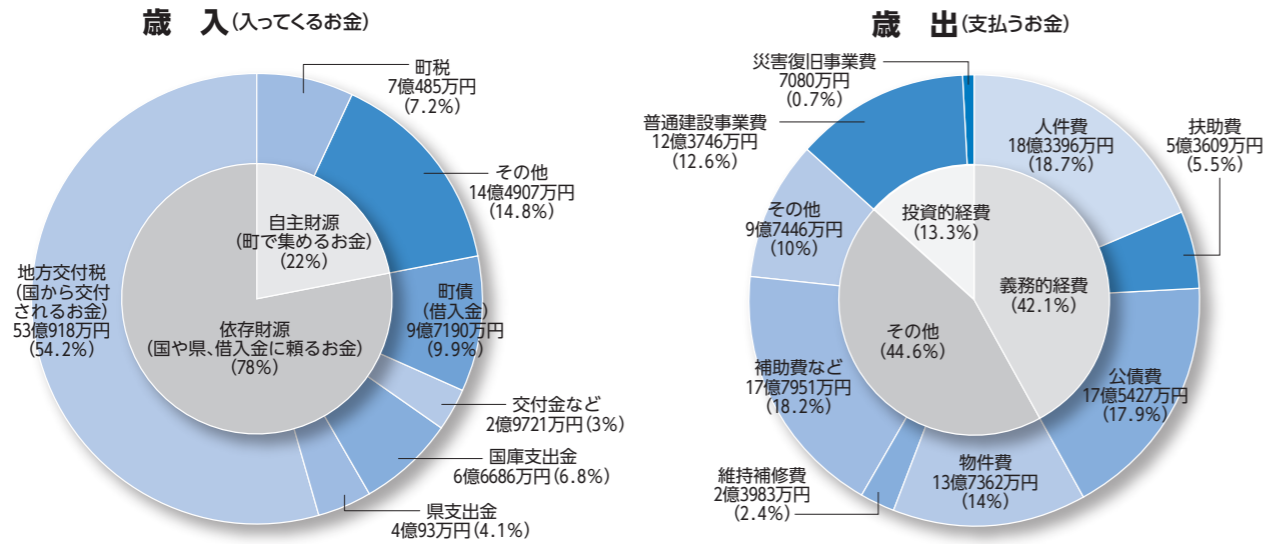
2月27日、任期満了に伴う町選挙管理委員の選挙を行いました。選挙の結果、竹花美千子さん(小川・75歳)、佐々木和子さん(大川・73歳)、阿部佳史さん(小本・72歳)、植村敏幸さん(岩泉・67歳)が当選されました。任期は4年間です。(掲載は、年齢順)



植村敏幸さん 阿部佳史さん 佐々木和子さん 竹花美千子さん

次は、書かない窓口を導入

一般会計 98 億円の内訳



当初予算の概要

財政用語

〔地方交付税〕町の財政力に応じて国から交付されるお金

〔国庫・県支出金〕町が行う事業に対して国・県から交付されるお金

〔町債〕事業の財源に充てるため国などから借りたお金

〔人件費〕職員の給与や医療費助成

〔扶助費〕事業を行うときに借りたお金の返済金

〔物件費〕旅費や消耗品費

〔維持補修費〕公共施設の維持・管理費

〔補助費〕補助金や交付金など

〔普通建設事業費〕道路や学校などの建設費

〔災害復旧事業費〕自然災害などで壊れた公共施設を復旧する費用

書かない窓口を導入

町民の利便性向上

令和6年度の新規事業は、「書かない窓口」「各種証明書のコンビニ交付」のサービス導入などです。役場窓口で申請書記入の負担が減る、「コンビニで住民票や戸籍証明書などが取得できるなど、町民の利便性の向上を図ります。

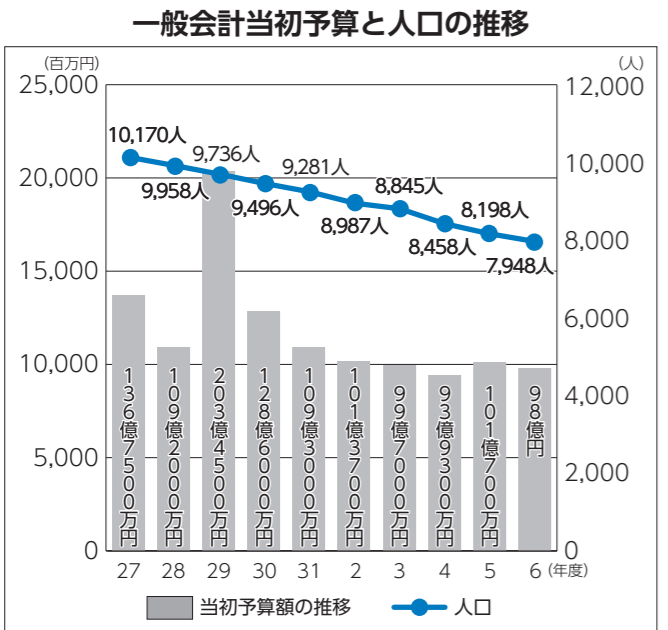
一般会計の当初予算額 98億円

6年度一般会計と5特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の総額は、138億8156万円。うち一般会計は98億円で、前年度から3億700万円の減(△3.0%)です。

主な要因は、新型コロナウイルスウィルスワクチン接種事業の終了。町道下岩泉4号線改良舗装や町道森の越中央線・中央支線改良など大型工事が終了したことによるものです。

一方、ツキノワグマ

- その他の主な新規事業**
- * 町管理林道に中間土場(山で伐採した木を一時保管する場)を整備 【861万円】
 - * 日本短角種の放牧頭数の維持確保(拡充) 【285万円】
- 黒毛和種の受精卵移植へ補助、日本短角種雌子牛の自家保留の補助金額を引き上げなど



6年度 各会計の当初予算額

会計名	予算額	伸び率
一般会計	98億円	△3.0%
国民健康保険	10億6200万円	△7.7%
診療施設助成	3910万円	4.5%
後期高齢者医療	1億3610万円	7.1%
介護保険	14億9110万円	△4.2%
サービス事業助成	1170万円	1.7%
観光事業	1億8700万円	△2.1%
公共下水道事業	-	皆減
大川財産区	440万円	△6.4%
合計	127億3140万円	△6.3%
水道事業(公営企業会計)	7億2758万円	△15.1%
下水道事業(公営企業会計)	4億2258万円	皆増



ますの声

前川 千寿子さん (岩泉・60歳) **予防接種の助成助かる**

昨年9月頃に带状疱疹になり、痛みがひどく1カ月も続きました。チクチクしたら湿疹が出る前でも治療が大切です。予防接種の助成はとても助かると思います。

ますの声

中村 登さん (小川・39歳) **コンビニ交付 導入うれしい**

以前から、証明書をいろんな場所で取れたら便利なのに、と思っていました。コンビニ交付の導入に向け動き出したと知り、うれしいです。

問 コンビニ交付サービス導入の理由は、町民の利便性向上のためである。

答 町民の利便性向上のためである。

問 年間の見込み交付数は。

答 1719件を見込んでいる。

ましてぴーちゃん

ほかにもDX推進で便利に
役場町民課の窓口にはキャッシュレス端末が整備されます。各種証明書の交付手数料などの支払いがキャッシュレスで便利になります。(各支所への導入は、利用状況を見ながら今後検討。)

DX
コンビニ交付導入理由は町民の利便性向上のため

健康
予防接種費用の助成額は半額程度を予定している

問 予防接種の費用はどのくらいか。

答 おたふくかぜは、平均で1万円前後。带状疱疹は、生ワクチンが1回接種で1万円未満。不活化ワクチンが1回2万円以上で2回接種となる。

問 対象者と助成額は。

答 おたふくかぜは、満1歳(6年度に限り就学前)で4千円を上限に1回限り助成。带状疱疹は、50歳以上で接種費の半額(上限4千円)を1、2回助成。

問 岩泉高校留学事業の特色は。

答 全国初の保護者も一緒に岩泉に来て、見て決めるスタイルのお試しプログラムを考えている。

問 全国公演も行う泉高の中野七頭舞など、子どもたちの心を打つ情報発信をしては。

答 お試しプログラムでさまざまな体験

高校
岩泉高校への留学特色はお試しプログラムで体験



躍動感ある中野七頭舞は全国ファンも多い

問 海外派遣の取り組みも一つの魅力。町が元気にやっているという情報の一つとして、多チャンネル化して広報すべきでは。

答 この事業は、地域・教育魅力化プラットフォームと連携して行う。町の情報発信の総合力を研究し、総合的に考えていく。

一般会計
総括質疑

総括質疑とは、審査する案件全般に対して行うもの。一般会計予算案に4議員が総括質疑を行いました。要約してお伝えします。

一 町長の思い
町長 本町の人口は、2050年には4千人を予測。バブル時は、役場に任せれば何とかだった。今は、そういう時代でない。議会とも知恵を出し合い政策に磨きをかけ、より最小の経費で最大の効果を発揮するように取り組んでいく。

一 働く環境の充実を
町長 8千人の本町で、100億円は背伸びをした予算。しかし、急激に予算を減少すれば、地域経済に大きな影響を及ぼす。予算規模と財政バランスに留意し予算編成。国、県から特定財源を引っ張り出すために奔走した。バブル時代から町内に施設を整備。今後、投資的経費より維持継続させる経常費の比率が上がる。なんとかバランスの取れた財政運営を維持する。

一 議会への要望は
町長 大きな転換期、従来の発想では少子高齢化社会を乗り切れない。新たな発想に視点を置き、大いに分析し議論を重ねる。



事業所での活躍に期待
地域おこし協力隊

地域おこし協力隊が主催し初開催したマルシェで接客する清水村忠泰さん(龍泉洞温泉ホテル受け入れ)

協力隊
希望事業者への周知は5年度から随時相談で

問 地域おこし協力隊受け入れ事業者委員の内容は。

答 協力隊員を町内事業所が直接受け入れ、報酬や活動費を町が事業所に支払うもの。一人当たり年480万円、6人分を予算計上している。

問 町内事業所へ周知の方法は。

答 一昨年末までは広報で周知。5年度からは随時相談の形で対応している。

問 相談があった場合、事例を紹介しながら丁寧に対応していく。

問 受け入れ事業者は何箇所か。

答 龍泉洞温泉ホテル、キーンアライアンス、岩泉きのこ産業、岩泉純木家具を予定している。

問 町内事業所にはいつに周知するのか。今後の方針は。

答 当初は目的が自由であったが、現状は町で求める人材を募集要綱に入れ、応募者とマッチングしながらやる方針としている。

問 協力隊の今後の方針は。

答 必要な事業者が活用できるようなPRをする。戻ってきた、起業したいなど波及効果がある。次の段階にもっていきたい。

ますの声
樋岡 亮音さん(地域おこし協力隊・22歳)
4月から、ものづくりで岩泉純木家具にお世話になっています。将来は、技術を磨き独自の作品を作りたいです。岩泉は、静かな町で人が優しいという印象です。

次は、介護保険料の改定

高齢者の介護保険料 高所得者は引き上げ



運動や趣味活動で健康的に、自立した活動的な生活を

条例補正予算審査特別委員会（畠山和英委員長）は、2月26日と27日に開き、付託された条例15件、補正予算8件を慎重に審査しました。
65歳以上の高所得者の介護保険料を引き上げ、増収分で低所得者の保険料を軽減する介護保険条例の一部改正案などに質疑がありました。
ここでは、いくつかの内容を要約してお伝えします。

介護保険 最高額は5万円以上増か 所得多い人に相応分負担

問 介護保険料は国の基準で定めるのか。
と5万円以上も引き上げられるのか。

答 標準料率は、国の示した基準のおおりとする。保険料の基礎となる基準額は、各市町村で給付費などから算出。本町の基準額は6900円が変わらない。

問 基準額が変わらないため、町民は介護保険料がこれまでどおりと感じる。最高額は14万円から20万円弱



岩泉町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

答 所得再配分（※）の機能強化。現在の第9段階を9から13に細分化。所得の多い人から相応分の保険料負担をいただくことが今回の大きな改正の一つである。

◇第9期 介護保険料：新設される高所得者区分

基準額（年額）：82,800円

段階	課税状況	対象者（合計所得）	保険料率	保険料（年額）	8期との差額
第9段階	本人が課税	320万円以上～420万円未満	1.7	140,760円	
第10段階		420万円以上～520万円未満	1.9	157,320円	16,560円
第11段階		520万円以上～620万円未満	2.1	173,880円	33,120円
第12段階		620万円以上～720万円未満	2.3	190,440円	49,680円
第13段階		720万円以上	2.4	198,720円	57,960円

ますの声
100歳体操で腰や膝が楽に 西倉 富子さん（猿沢・80歳）
13年前に岩泉に戻りました。地域の人から誘ってもらい、いきいき100歳体操に参加。腰や膝が楽になったと実感しています。仲間との会話が楽しみです。



（※）国民の暮らしを守るために、税や社会保険などで所得を再配分する仕組み。所得の格差を埋める機能がある。

農業 既に購入した資材も対象か 6年の栽培に使うものは可



おいしい岩泉町産リンゴの豊作願う

問 本年3月1日から戸籍証明書などの広域交付（※1）が開始。本籍地以外の自治体窓口で、抄本は取れないのか。

答 戸籍も除籍も謄本のみ取得が可能。抄本の広域交付は、技術的にできない。

戸籍 広域交付で抄本取れるか 技術的にできず謄本のみ

問 今後、戸籍電子証明書（※2）の活用で、紙の戸籍証明書の添付が省略できるのは、どういう場合か。

答 パスポート申請などである。行政機関のシステムが整備されてからの運用となり、6年度末の開始予定。

観光 ポンテ閉店後の施設活用は 雑穀ランチなどの販売予定

問 龍泉洞の洞内・園地清掃等委託料を減額補正する理由は。

答 園地内清掃のほか洞内の改札業務やカフェポンテの営業分などを委託。（株）岩泉総合観光がポンテの営業を断念し、冬季期間分が減額となったもの。

問 ポンテ閉店後の施設活用はどのようなか。

答 今後は、地域おこし協力隊員が雑穀を使ったランチやスイーツ、アイスなどを販売する予定。営業開始は4月下旬を見込んでいます。

問 公共施設であり、事業者選定は公募など公平な手法が望ましく、広く希望者を募るべきでは。

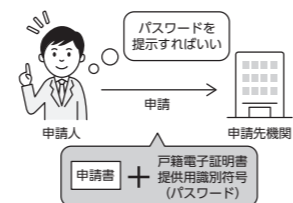
答 今後、検討する。

おしえてぴーちゃん

令和6年3月1日から
※1 広域交付制度とは本籍地以外の市区町村の窓口でも、戸籍証明書・除籍証明書を請求できるようになります。



今後の予定
※2 戸籍電子証明書とは戸籍の情報を電子的に証明したもの。パスポート発給申請などで、「戸籍電子証明書提供用識別符号（パスワード）」を提示すれば、戸籍証明書の添付が不要になります。



問 果樹栽培の肥料と農薬費用へ半額補助する。既に購入した資材も対象になるか。

答 6年の栽培に使う資材として準備したものは対象とする。

問 新年度もクマなど鳥獣被害の恐れがある。その対策は。

答 県の動向を見ながら、引き続き被害防止対策を強化する。

ますの声

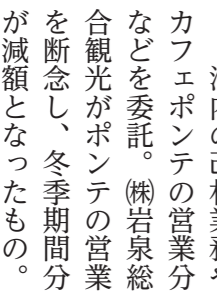
鳥獣被害は甚大町の支援に感謝
工藤 久也さん（小川・68歳）



昨年の鳥獣被害は甚大であり、町の支援は非常にありがたい。電気牧柵などの維持や整備など、被害軽減対策に力を入れていきたい。

ますの声

龍泉洞園地の魅力継続的に発信して
八重樫 真さん（龍泉洞わか店長）



事業を始める際は、龍泉洞園地の魅力を町内外に継続的に発信してほしい。そのための協力は惜まず行います。町には園地活性化に向け、最大限の下支えをお願いします。



会議録



八重樫 真さん 龍泉洞園地の魅力継続的に発信して
事業を始める際は、龍泉洞園地の魅力を町内外に継続的に発信してほしい。そのための協力は惜まず行います。町には園地活性化に向け、最大限の下支えをお願いします。



町の考えを問う

10人の議員が登場

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。3月定例会では、10人の議員が登場し、町政課題への提言や質問を行いました。

坂本 昇 議員 (15歳) ●介護予防で保険料の抑制を

畠山 昌典 議員 (15歳) ●今後の学校適性配置は
*その他の質問
介護保険による住宅改修などへ受領委任払いの導入を

八重樫龍介 議員 (16歳) ●ピーちゃんの代替案は

三田地久志 議員 (16歳) ●農村RMOの取り組みを

畠山 和英 議員 (17歳) ●人口社会減への対応は
*その他の質問
人口減少対策：外国人材の確保 「ふれあいランド岩泉」の再整備

合砂 丈司 議員 (17歳) ●町民バスを新たな運行へ

早川ケン子 議員 (18歳) ●子ども食堂の支援は
*その他の質問
町民の健康推進の取り組み

三田地和彦 議員 (18歳) ●人口減を考えた住宅対策を

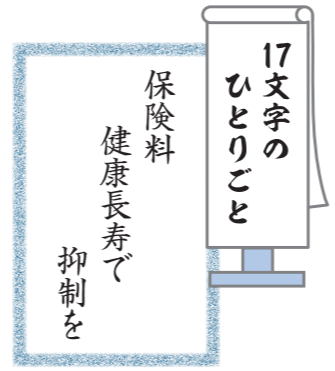
林崎竟次郎 議員 (19歳) ●補聴器購入補助早急に
*その他の質問
高齢者・低所得世帯のエアコン設置への補助を 国保税の子ども均等割全額減免を

三田地泰正 議員 (19歳) ●農政の具体的内容は
*その他の質問
働き方改革と教育の展開方向



坂本 昇 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 介護予防で保険料の抑制を

問 介護保険特別会計の予算は約15億円。町民が負担する介護保険料が多額になっている。介護予防や健康づくりによる健康寿命の延伸に努め、生きがいづくりと介護保険料の負担軽減を図るべきではないか。

りの給付費が高い傾向にある。健康寿命の延伸は、給付費の削減、ひいては保険料の軽減につながる。5年度から、がん検診を無料化するなど

ど病気の早期発見・早期治療に結びつける取り組みも実施した。6年度も、特定健診やがん検診などの受診率向上、高齢者への健康教育や個別相談、さらに「働く世代の健康づくりの促進」を図るべく、より一層取り組みを進めていく。



いきいき百歳体操でいつまでも元気に

問 今後の学校適性配置は

答 保護者と意見交換する

問 町では今まで、小中学校の統廃合が進められてきた。出生数が激減している現在、これから子育てをしていく世代からは「将来我が子がその時期を迎える時、町の小中学校の状況はどうなっているのか」という不安の声がある。今後における

「学校適性配置」をどのように考えているか。

教育長 今後の児童生徒数の推移を見ると、6年後の令和11年度には児童数が36%減少し、現在の298人から191人になる見込みである。

今後も学校の統廃合は避けては通れない課題である。小中学校やこども園の保護者との意見交換・個別相談なども行いながら、子どもや保護者、町の皆さんが安心できる学校配置の在り方を検討していく。

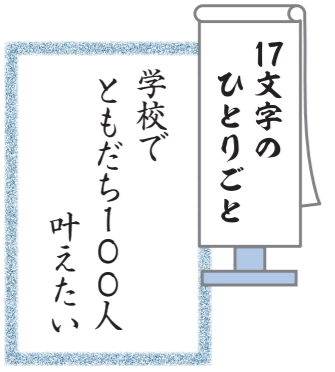


今後の学校の在り方をみんなで考えなければなりません (小川中学校卒業式)



畠山 昌典 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



一般質問全文は、町ホームページで公開しています。スマートフォンはこちらから。

問 ぴーちゃんの代替案は 答 総合的に検討を進める

問 ぴーちゃんねっとは事業費28億5570万円を投じて平成26年12月に運用が開始され、多種多様な用途で活用されている。
しかし、サーバー機器群の動作保証が令和7年3月末で満了予定

で、さらに端末も製造中止と聞いている。端末はいつまで利用可能か。ぴーちゃんねっとの代替案などは。

町長 端末は、サーバー機器の動作保証と連動しており、令和7年度以降の継続利用はさまざまな角度からの検討が必要である。在



町民に親しまれているぴーちゃん

庫数は、親機を300台保管しており、新築住宅、転入者や故障対応などに使用している。子機は在庫がない状況である。ぴーちゃんねっとで行っている情報発信などの今後の方針は、費用対効果や整備手法など総合的に検討を進め、一定の方向を定める。



八重樫龍介議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

17文字のひとりごと
ぴーちゃんの
回りいつまで
聴けるかな



畠山 和英議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

17文字のひとりごと
動かねば
居たい戻れる
故郷に

問 人口社会減への対応は

答 企業立地、起業取組む

問 人口の社会減解消に向けた具体的な取り組みは。

町長 未来づくりプランで示すさまざまな事業が人口減対策。効果を検証しながら進めていく。

志す人が目標達成できるように取り組むか。

町長 国など関係機関の支援策の情報収集、県や商工団体と密に連携し、効果的な支援につなげるよう取り組む。

問 畑わさび栽培農家養成のための取り組み成果と今後の見通しは。

町長 地域おこし協力隊員は、令和5年度に2人が就農した。7年度は5人、8年度は1人が新規就農の予定である。年間生産量は、6年度12ト、10年度は約100トを目指す。

問 企業立地は平成24年の2社以後無い。今後の企業誘致の方策は。
町長 旧校舎などの遊休施設の活用を希望する起業をターゲットに誘致に取り組む。



町内就職を促進するため魅力ある雇用創出を



三田地久志議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

17文字のひとりごと
前向きに
課題解決
全員で

問 農村RMOの取り組みを

答 前向きに調査研究重ねる

問 新たに農村RMO（※）としての組織立ち上げではなく、地域振興協議会の中に、農村RMOの理念を取り入れることで解決の道が見えてくると考える。岩泉町の少子高齢化、遊休農地の回避、各年齢層の所得の向上、関係人口・交流人口の拡大策など目に見える課題を早急に解決していくためにも「農村RMO」に取り組むべきではないかと考えるがどうか。

町長 農村RMOに取り組むことで、農地の

保全活動のほか、獣害対策、生活支援、地域資源の活用などを実施する際に、国の財源を活用できる有利な面もある。

地域振興協議会やその他の地域組織に情報を提供し、人口減少下の農村地域づくりにおけるさまざまな地域課題の解決策の一つとして、今後調査研究を重ねていく。



生活や食文化に結び付く農業。地域で守る取り組みを（岩泉地域振興協議会：食の文化祭）

（※）複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援など地域コミュニティの維持に役立つ取り組みを行う組織のこと

問 町民バスを新たな運行へ 答 便数見直しデマンド検討

問 少子高齢化やコロナ禍などで町民バスの乗客が少なく、乗っていない場合も見られる。高齢者は、大きいバスは階段の段差が大きく、乗り降りが大変。乗客のいない時間帯の運行を調整し、新たな公共交通の一つとして、乗り降りしやすい

町長 地域の暮らしを支える移動手段の維持確保は、最重要課題と認識している。未来づくりプラン後期基本計画でも、利用者のニーズと地域性を考慮した交通体系の構築を目指すこととしている。現在「町地域公共交通計画」の策定を進めている。



運行を工夫し、ニーズに合った交通体系へ

小さいバスで、予約方式で運行すべきと考えるがどうか。

6年度に運行事業者と協議を重ね、利用者数が少ない町民バス路線の運行便数などを見直し、デマンド交通への切り替えを検討していく。

併せて、デマンド交通の運行範囲も、国土交通省東北運輸局の指導を得ながら検討を進めていきたい。



合砂 丈司議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

17文字のひとりごと
集落の
高齢進み
悩む維持



林崎寛次郎議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 高齢者は加齢性難聴により社会参加しづらくなり、孤独・孤立の問題を抱える。「高齢者の補聴器使用が認知機能を改善する」という世界的な研究成果も発表されている。



スムーズなコミュニケーションで会話を楽しみたい

問 補聴器購入補助早急に

答 前向きに検討していく

めに有効なことに「タフシー利用の助成」19・4%に次いで「補聴器の購入補助」が10・0%。一日でも早く実施すべきだと考えるがどうか。

町長 加齢に伴う「聞こえ」の問題は、高齢者の生活の質に大きな

影響を与える。「社会的フレイル（※）」にもつながる。補聴器の購入補助に対する町民ニーズが高いことなども踏まえ、認知症リスクを予防し、高齢者の生活支援や社会参加の促進を図るため、補聴器購入支援は、前向きに検討をしていく。

17文字のひとりごと

補聴器は
社会参加へ
待ったなし



早川ケン子議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 子ども食堂の支援は

答 実施団体と連携する

問 旧小川小が統合され、袋綿地区では子どもたちとの交流の場がなくなった。

町長 旧小川小が統合され、袋綿地区では子どもたちとの交流の場がなくなった。

町長 町内の2団体が「子ども食堂」を試行的に実施すると聞いている。2月に開催した



地域の多様なつながりをつくる子ども食堂

町はこれまで、開催場所の確保や住民周知への協力などを実施している。提供食材の確保や関係団体とのネットワーク構築などの課題が想定されることから、実施団体と情報共有を図りながら、連携していきたい。

17文字のひとりごと

おさなごの命あずかる
あたたかさ

問 人口減を考えた住宅対策を

答 慎重な検討が必要と考える

問 人口減少は、早急に手を打たなければならぬ深刻な問題である。現在の地元住民も対象にした住宅対策のみでは、歯止めは無理だと感じる。宮城県七ヶ宿町の「20年入居すれば土地と住宅を無



三田地和彦議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



魅力的な定住支援となる住宅対策が必要

償譲渡」のような事業を導入し、人口減少を少しでも食い止める考えは無いか。

特定の自治体が導入している施策を即本町で取り入れることは、選択の誤りである一方、慎重な判断も必要。移住者に対して手厚い支援策であるが、本町では、町内在住者とのバランスを図る観点からも、慎重な検討が必要と考える。

17文字のひとりごと

人口減
対策名案
否決され



三田地泰正議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 農政の具体的内容は

答 新規就農支援を拡充

問 「人・農地プラン」を法定化し、地域の将来の農地利用を明確にするため、現在、地域計画を策定中である。令和6年度の農政施策の具体的内容は。

町長 新規就農支援や農業後継者支援は「次世代就農者支援事業」として事業を統合する。50歳以上60歳未満で就農する人の補助金の受給期間を3年間に拡充することなどを検討している。

継続していきたいと考えている。今後も、人口減少による農政への影響と課題の本質を的確に捉え、より効果的な施策となるよう取り組んでいく。

17文字のひとりごと

政治には
民の数だけ
福祉あり

町長 新規就農支援や農業後継者支援は「次世代就農者支援事業」として事業を統合する。50歳以上60歳未満で就農する人の補助金の受給期間を3年間に拡充することなどを検討している。



水田を活用した飼料用作物の生産など支援継続

(※) 家族や友人、知人との交流機会が減少するなど、社会的に脆弱な状態にあること

傍聴者の声



(左から) 佐々木勝行さん(小川・73歳)
菊地等さん(小川・76歳)
菊地タマ子さん(小川・75歳)

3月定例会の傍聴者は延べ15人でした。傍聴された人から感想や議会・町に対する声を聴きました。

ラジオが聞こえる楽しみを

この思いです。国道340号、455号など幹線道路の整備を早急に望みます。

タマ子さん 百歳体操をしています。元気に草取りをする人もできました。残念ながら「ラジオ」が聞こえません。ラジオ放送は防災のほか農作業や山仕事など楽しみも増します。早く聞けるようにしてほしいです。

傍聴のきっかけは等さん 私たちは時々、町内外日帰りの「国見」をしている仲間です。議会の様子を見たことがないので行ってみたいかと、誘ってもらいました。

傍聴した感想は勝行さん 議場では、普段と違って議員は張

りきって発言しているのが感じられました。活発な質疑が行われ、頑張っているなという感想です。出来たらまた来たいです。

議会や町政に対する要望はありますか
等さん 盛岡、宮古が近くなって一時間コースとなり、通勤も容易にできるようになれば

勝行さん 県内で岩泉エリアは「魔のトライアングル」地域です。広域災害時の後方支援拠点から外れ、西部は高速道路交通網から除かれるなど、さまざまなが取り残されています。町や議員はもっと頑張してほしいです。

第2回臨時会

ふれあいランド 来春開業目指す

再整備

令和6年第2回臨時会は3月26日、ふれあいランド岩泉の再整備の補正予算などを審議するため開きました。来春の開業を目指し工事が始まります。

6年度は完全休業

1年間工事に集中

主な整備の内容

- 新設されるもの
- *ロイヤルコテージ(3棟)
 - *グランピング施設(7棟)
ツインドームタイプ
シングルドームタイプ
- 改修されるもの
- *センターハウス
絵本図書館整備
カフェテリア設置
 - *サニタリーハウス
シャワー室、家族風呂
 - *キャンプ場
各サイトの区画拡大
 - *コテージ(5棟)
 - *子どもの遊び場



再整備で新たな観光の拠点になるふれあいランド岩泉

質疑のその後 どうなったか... あの提言

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問などから一部を取り上げ、その後どうなったか追跡します。

小・中学校の給食費が無償

令和4年第1回定例会
第2回定例会
【一般質問】

問 本町も早急に給食費の無償化を実施すべきでないか。

答 経済的な理由から負担が困難な家庭には、就学援助制度で支援。総合的な子育て支援策の中で検討する。

令和6年第1回定例会
【新年度予算】

小中学校の児童生徒の学校給食費(1食当たり児童300円、生徒330円)を無償化する新年度予算案を全会一致で可決しました。

▽事業費(賄材料費)
2670万8千円



心身の健やかな成長を町全体で応援

まずの声

物価高で出費かさむばかり

収入は変わらないのに、物価高で出費はかさむばかり...。小中学生4人の給食費は家計の負担が大きかったです。無償化で負担が軽減され、本当に助かります。



佐々木 早苗さん(岩泉・38歳)
琉樟ちゃん11歳、伶風ちゃん7歳、
桜子ちゃん5歳、藍くん0歳

まずの声

無償化は大助かり

3人の子育てをしています。3番目は活動家だらけ。耳鼻科にも通っています。今後の医療費を考えると、今回の無償化は大助かりです。



三上 裕美子さん(二升石・46歳)
紡来くん7歳、さやさん12歳、陽介くん9歳

18歳まで医療費が無償

令和4年第1回定例会
【一般質問】

問 乳幼児・児童・妊産婦に対する医療費助成の所得制限を外し、受給者負担を無くするべきではないか。

答 さらになる財政負担が生じ、財政を圧迫する要因になる。当面、現行制度を維持し、子育て施策全体の中で総合的に検討する。

令和6年第1回定例会
【新年度予算】

6年8月診療分から子ども(3歳から18歳)になった後の最初の3月31日までにいる者)と妊産婦の医療費を無償化する新年度予算案を全会一致で可決しました。

▽事業費
4687万1千円
(うち無償化分
639万7千円)

おしえてぴーちゃん

出生の日から3歳になった月の末日までの子どもの医療費はこれまでも無料です。



議員定数と報酬 アンケート結果

令和5年12月22日から6年2月6日までに実施した、各地区と部門別の議員と語る会でアンケートを行いました。

ご回答いただき、ありがとうございます。

参加人数 158人
アンケート回答者 142人
(回収率 89.9%)

皆さまからのアンケート結果・ご意見を踏まえ、現在、協議を重ねています。



各地域によって課題もさまざまです

*議員に若い人や女性議員が少ないことは問題だと思いますか。

	総数	部門別	地区別
・説明を聞いて問題だと思った	34人 (26.8%)	7人	27人
・問題ない	26人 (20.5%)	3人	23人
・以前から問題だと思っている	67人 (52.7%)	8人	59人

*議員の報酬額が低く、一定の人しか立候補できない現状は問題だと思いますか？

・説明を聞いて問題だと思った	38人 (30.9%)	11人	27人
・問題ない	45人 (36.6%)	5人	40人
・以前から問題だと思っている	40人 (32.5%)	2人	38人

*あなた又はあなたの家族（配偶者や子）が、議員になるとしたら、議員報酬月額25万円（現在21万円から4万円増）は妥当だと思いますか？

・妥当である	64人 (49.2%)	6人	58人
・高い	25人 (19.2%)	0人	25人
・安い	41人 (31.5%)	10人	31人

*議員定数が少ないと経費が節約される一方、当選に必要な得票数が増えて、新たに町議会議員として立候補しにくくなることをどう思いますか？

・いろんな人が立候補しやすくなり	73人 (57.9%)	14人	59人
・仕方ない	30人 (23.8%)	3人	27人
・それでもできる人がやればよい	23人 (18.3%)	0人	23人

*若手や女性など多様な町民が議会に参画するために、現行14人の議員定数はどうすべきだと思いますか？

・現状維持	68人 (49.6%)	16人	52人
・定数減とすべき	68人 (49.6%)	2人	66人
・定数増とすべき	1人 (0.7%)	0人	1人

移住・定住対策

意見の数 7

主な意見
所得が低い。住居費を安く、教育費を減免するなど、住みやすいまちとなる定住対策を。

議会の対応
可処分所得(※)が向上されるよう、さまざまな提案を行っていく。

公共交通

意見の数 2

主な意見
高齢者の足の確保を。

議会の対応
地域に合った交通体系構築のため、調査研究を引続き行い、町へ提言して行く。



皆さまのご意見をまちづくりに生かしていきます

(※) 収入のうち、税金や社会保険料などを除いた所得。自分で自由に使える手取り収入のこと

皆さんの声に 議会の対応

5年ぶり6地区で「議員と語る会」



議員と語る会でも出されたご意見と対応は、「新着情報」からご覧ください。

議会は1月23日から2月6日にかけて「議員と語る会」を6地区で開催しました。コロナ禍などで各地区での開催は5年ぶり。「これからの岩泉のまちづくり」をテーマに、延べ158人の参加をいただきました。

議員と語る会で出された主なご意見に対し、議会の対応をお知らせします。

有害鳥獣

意見の数 4

主な意見
クマが見えたらすぐその場で撃てるようにしてほしい。

議会の対応
国（環境省）において、指定管理鳥獣の追加になる方針。猟友会などハンターに対する報償費などの改善を提言している。

農業振興

意見の数 10

主な意見
短角牛の振興・加工場の整備を。農業後継者対策の助成制度を手厚く。

議会の対応
国・県の対策に町独自の施策を展開するよう、町へ働きかけていく。

道路整備

意見の数 6

主な意見
落石や支障となる枝の対策、道路損傷の改良など、道路の整備を。議員は現況確認を。

議会の対応
昨年、国・県道の現地調査を実施。今後も現場を確認しつつ、町・県・国に要望していく。



5年ぶりの開催に、たくさんのご意見が出されました



分かりやすい議会だよりを目指します

議会だより2年連続 全国2位・県1位

いわいずみ議会だより第202号（5年4月14日発行）が、第38回（5年度）町村議会広報全国コンクールで第2位となる優秀賞を受賞しました。同コンクールには全国から300点が応募。この中から選ばれたものです。昨年度に引き続き2年連続です。

議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの？という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。（全日程はQRコードで）



議会の動き

- 1月**
 - 20日 東部町村議会議長会議員研修・議員交流会（山田町）
 - 21日 町消防団消防出初式（町内）
 - 23日 議員と語る会（6地区：2月6日まで）
- 2月**
 - 1日 第1回臨時会（議会議事堂）
 - 5日 議会運営委員会（役場）
 - 8日 第1回定例会（議会議事堂）
 - 26日 条例補正予算審査特別委員会（役場：27日まで）
 - 27日 本会議（議会議事堂）
広報広聴常任委員会（役場）
 - 28日 一般質問（議会議事堂：29日まで）
- 3月**
 - 5日 新年度予算審査特別委員会（役場：8日まで）
 - 8日 本会議（議会議事堂）
 - 19日 議会全員協議会（役場）
 - 26日 第2回臨時会（議会議事堂）

広報広聴常任委員会

委員長	千葉 泰彦
副委員長	佐藤 安美
委員	八重樫 龍介
	坂本 昇
	和英 昇
	昌典
	昌典
	昌典

▽新年早々能登半島地震があり、13年前の東日本大震災を思い出しました。早期復興を願ってやみません▽3月定例会は、持続可能なまちづくりへ総予算139億円の審査と条例補正予算へ活発な議論。一般質問は、5年ぶりに開催した議員と語る会の意見も含め、積極的に質問・意見が出されました▽広報コンクールは、昨年度に続き全国第2位、県で特選。町の皆さまの「まちの声」が生かされたものと感謝です。これからも、親しまれ、信頼される紙面づくりに励んでいきます。

広報広聴常任委員
坂本 昇

自治功労賞を受賞

全国町村議会議長会表彰

早川ケン子議員は、全国町村議会議長会から自治功労者（議員在職15年以上）として表彰されました。長年にわたり地域の振興発展に尽力された功績が認められたものです。



菊地議長から早川議員へ表彰状伝達

已議長から手渡されました。

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、
6月 6日(木) 一般質問
7日(金) 一般質問
11日(火) 条例補正予算審査・本会議
の予定です。
※都合により変更となる場合があります。

編集後記



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙一」を使用しています。

